

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 人づくりグループ 第6回会議		
日時	令和元年11月20日（水）18時45分～21時30分	場所	福野庁舎1階102会議室
出席者	人づくりグループ メンバー：3名、地方創生推進課：2名		
内容	・具体的な取組内容の検討		
概要	<p>◆浦井リーダー挨拶 ○前回の会議では、コンソーシアムの創設に向けて、この活動の理念を明文化する検討の途中で時間切れとなってしまったが、理念に通じる発言があったので、それを基に明文化案を作成してくるという宿題をお願いしていた。今日は、その内容を確認し、理念の明文化を行いたい。</p> <p>◆資料2「コンソーシアムの創設に向けた理念の明文化」の内容について確認 ◆具体的な取組内容の検討（○…浦井リーダー発言、●…メンバー発言、→…事務局発言） ○なるべく簡潔な表現にまとめるため、使いたいワードや心に響いた言葉をピックアップすれば良いかと。 また、この活動の名称をまだ決めていなかったが、資料2-③のイメージが良いのではないかと思うか。そして、この基本方針の下に、補足的な文章を加えてもいいかも知れない。但し、名前にある「コンソーシアム」という言葉は、あまり対外的な言葉ではないと思うがどうか。 ●コンソーシアムという組織体のイメージはあっても、名称まではこだわりがなかった。 ○この活動を福野からスタートして、いずれは、市全体の取組になっていくと思っている。 ●初めから市全体を対象とした範囲を想定しても良いのでは？ →初めは旧町地域の小さな単位でスタートした方が手本となり、他地域でも取組みやすい。いずれは市全体にこの取組が広まっていけば良いと思っている。 ○いずれ市全体で取組みたいと思っているので、名称を福野にこだわるつもりはない。 ●この名称では、見て、ワクワクしないと思う。 →資料2-②の1番先の文が、根っこという点で、前回会議の木の絵とマッチしているように思う。 ●高校生以下の子どもが見ても分かりやすい方が良い。 ○単語と文章との組み合わせが、使い勝手が良いと思う。 ●単語は、人うけするような言葉が良いだろう。 ○「根っこ」は「Roots」。「心の根っこ」は、英語で何と言うのだろう？ ●「Roots」だけでも、「心の根っこ」という意味があるようだ。 ●どんなものにも「根っこ」はある。例えば、人、生活、土徳等。 ●人材バンクなど、「人を紹介する」という意味で「Bank」はどうか。還元するという意味も込めて。 →簡単に決まりそうになれば、仮に決めておいて、いい名称が出てきたら変更すればどうだろうか。 ●スタート時の名称は「福野」でも良いのかも。 ○名称は後からでも決められるのでこの辺にして、理念と基本方針を決めていきたい。 資料2-②の＜つけたし＞にあるサケの話は、この活動の発端とも言えるので是非取り入れたい。また、1つのつながりとして、資料2-③の「掘り起こし」「耕し」「種をまく」もどこかで使いたい。 ●コンソーシアムという言葉には、つなげることという印象を持っている。人材をつなげて、学びの場を提供するような。「学びの場の提供」のウェイトが大きいので、これを活動の柱にすべきだと考える。それが地域の元気である。また、受動的なイメージのある「活性」というよりは「能動的な取組」によるものというイメージ。「能動的な」はキーワード。「応援したい」というのも能動的な表現だと思う。 ○「学びの場」は理念になるか？ ●学びの場の「場」が大事なので、「学びの場」を名称に入れても良いくらいではないだろうか？ ●「学び場」を名称にしてはどうか？ ●（全員）異議なし。 ○理念に、資料2-②の上から1番目の話を入れてはどうか？ ●子どもに限らず、大人も根っこは大事。そして、『「心の根っこ（Roots）」にたっぷりの愛を注ぎ』という表現は、掴みが良いと思う。</p>		

	<p>→資料2-③の理念とつなげてはどうだろう？</p> <p>『私たちは地域の宝をつなぎ、共に学び合いの輪を広げることで、「心の根っこ(Roots)」にたっぷりの愛を注ぎ、能動的な生きている地域を創造します。』</p> <p>●これがメンバー全員の思いになるのでは？</p> <p>○メンバー全員の言いたいことが表現されていると思う。これで理念が出来上がった。</p> <p>●「人材資源の発掘」と「ネットワークの構築」は、手法は違うけれど、言っていることは似ているのでは？</p> <p>○人材同士もつながって欲しいと思っているが、地域のために動く人たちの輪も広げたい。基本方針のような部分に、「学びの場の提供」「人的ネットワークづくり」「人資源の発掘」を入れたいと思っているがどうか。</p> <p>→「人材育成」は入れなくても良いか？</p> <p>○「人資源の発掘」は「人材育成」と同一ではない。</p> <p>●「学びの場の提供」が「人材育成」になるだろうか？</p> <p>→基本方針には、取組みたい事を個々に分けて載せた方が良いのではないか？</p> <p>○「人材育成」は、地域の会合に率先して参加するような人を育てる、ということになるだろうか。</p> <p>それと、資料2-②の<つけたし>（サケのコラム）はどの部分に入れればよいだろうか？</p> <p>●理念のすぐ下だろうか。はっきりとした理由は解明されていないとされているが、土地自体の匂いもあると聞くし、「学び場」で学んだ匂いを覚えていて帰ってくるイメージ。理念の最終着地点はこのような感じかと。</p> <p>○但し、「人材育成」という言葉が固い。</p> <p>→「人材育成」を「人づくり」に替えればどうか？</p> <p>○基本方針は、「学びの場の提供」「人的ネットワークづくり」「人資源の発掘」「人づくり」の4点でどうか？</p> <p>●異議なし。</p> <p>→前回会議の冒頭で確認のあった、市からの費用面のサポートについては、スタートアップの段階で、どのような運用の仕組みを作るかという部分に対してサポートすべきと考えている。</p> <p>○寄付は、スポンサーというよりも、応援しているという意味で必要と考えているが、自分たちで、この活動のPRも兼ねて、イベント等に出店して資金を稼ぐことも検討している。前回の会議で、事務局の体制や方向性が大きく変わってきた。当初は人件費等で事務局経費が必要になってくると思っていたが、インターネット中心に進めることにしたので、思っていた程の経費はかかるのではないかと思っている。</p> <p>●例えば、学びの場の体験ツアーに必要なバス代の支援などは考えられるか？</p> <p>○そうすると、仮にその支援により受講料が1,000円だったものが、支援がなくなったことにより受講料がハネ上がることにもなり兼ねない。受講料が変動することは、この活動への信用を無くすことにもなると考える。そのような方法ではない支援が良いのではないかと思う。</p> <p>→その都度使い切るのではなく、次の活動の資金として残しておけるような方法が取ればいいのだが。</p> <p>●いざれ会則なども作った上で、このコンソーシアムの通帳を作れば、全体としては動かせるようになる。</p> <p>○ホームページは、無料サイトのパッケージなどを使えば簡単に開設出来る。仮に、有料ドメインを取ったところで、その経費も年間数千円程度だから、市の支援を利用するよりも、寄付を当てた方が適當だろう。</p> <p>→12月2日の合同会議では、どうやって運営していくのか？と、資金面の質問はあると予想されるが。</p> <p>○運営資金の基本的な内訳は、自分たちで資金を稼ぐことと寄付を考えている。寄付がどのくらい集められるかは分からないが、この活動が根付けば、寄付は容易に集められるようになるだろう。最初から10年計画と言っているが、資金を稼ぐ仕組みをどうするか？市の支援を利用するとしたら、チラシとか、名刺とかになるか？目に見えて分かるものがあれば、人を募りやすい。機関紙のサンプルを作るのも一考か？</p> <p>→当時のPR動画の費用であれば市のサポートとして可能であろう。</p> <p>○チラシや動画を作ることは検討しても良いだろう。なくても良いが、あればありがたい、という程度ではあるが、機関紙のサンプル作りは年度内に行いたい。学び場の試行も年内にやってみるか？</p> <p>→学び場については、試行するにしても、しっかりと検討を重ねてからの方が良いと思う。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○学び場については、年度内の試行にこだわらずに検討していくこととし、機関紙のサンプル作りについては年度内に行いたい。
それと、ホームページの構成は、写真ベースにするか？それとも動画ベースにするか？
→最初は、写真ベースで話していたとか。

○写真ベースなら文字が中心になるが、これなら私たちのような素人でも対応出来そう。
そして、このグループのメンバーをどうやって増やすかも考えないとダメだろう。
→人が集まる機会、例えば、何かの会合のときに出向いて説明するとか。

●PTA ロスという言葉もあるくらいだから、PTA の役が終わった人に声掛けするのも一考か？

○PTA の人がまちづくりに興味があるかと言えば、そうでもない。役の長い人に限って、子どものために、という思いが強いようにも感じる。
次回会議に向けて、機関紙のサンプルを作るにあたり、紹介する人材の第1号や、続いて紹介する候補を挙げること、それと、このグループのメンバーを増やす方法を挙げることを宿題としたい。
また、12月2日の合同会議での報告は、スライド投影と配布資料で説明することとする。

●承知した。

◆次回会議

日時…令和元年12月2日（月）午後7時から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…（福野地域3グループ合同会議）これまでの検討の進捗を他のメンバーに報告

◆次々回会議

日時…令和元年12月16日（月）午後7時30分から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…具体的な取組内容の検討

宿題…①機関紙のサンプルを作るにあたり、紹介する人材の第1号や、続いて紹介する候補を挙げる。

②このグループのメンバーを増やす方法を挙げる。

福野地域提言実現 人づくりグループ 検討組織

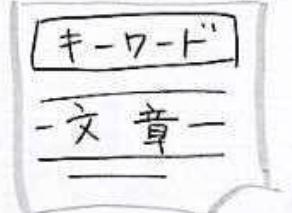
第6回 R元.11.20(木)

(コンソーシアムの創設に向けて) コンソーシアムの理念

・名称は?

ルーツ バンク
心の根っこ Roots . Bank
自分のルーツ、土徳。

・コンパクトな表現と文章の組み合わせが
分かりやすいか?



・サケのエピソードを入れたい

・“耕す”、“種をまく”の言葉

↑子どもたちに向けて

but, 子どもに限らない

- ・“つなげること”, “学びの場の提供”
元気、能動的
- ・地域の未来を考える
- ・応援したい

・学び場 まなびば MANABI BA, MANA VIVA
名称 まな VIVA

・名称の直下に、「心の根っこ」の話と
「たっぷりの愛を注ぎ…」イイネ

私たちは、地域の宝とつなぎ、
共に学び合いの輪を広げることで、
「心の根っこ(Roots)」にたっぷりの愛を注ぎ
能動的な、生きている地域を創造します。

理念

基本方針

- ・学びの場の提供 → 着地化するため
多彩な「人」資源の発掘
- ・人材育成 能動的な人をつくる
- ・「人」的ネットワークの構築

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 人づくりグループ 第5回会議		
日時	令和元年11月12日（火）19時30分～21時	場所	福野庁舎2階 201会議室
出席者	人づくりグループ メンバー：3名、地方創生推進課：1名		
内容	・具体的な取組内容の検討		
概要	<p>◆浦井リーダー挨拶</p> <p>○前回の会議では、コンソーシアムの創設に向けて、この活動の目的や背景の明文化、及び、この活動の支援者を増やす仕組みについて宿題とする、というところで議論を終えた。今日は、宿題となっていたこの2点について話し合いたいと思っているが、まずは、皆さんにお願いしていた宿題の内容を確認し、目的や背景について考え方を摺り合わせて大まかに文章化したい。</p> <p>また、以前から機関紙発行について検討しているが、これは情報発信ツールの一つでしかないの、本格的な検討はもう少し先の話になると考えている。</p> <p>◆資料2「今後の取組内容についての意見書」の内容について確認</p> <p>◆具体的な取組内容の検討（○…浦井リーダー発言、●…メンバー発言、→…事務局発言）</p> <p>○事務局への確認だが、今後、我々のこの検討が実現することになり、コンソーシアムの事務局を設置することになった時の必要経費の対応はどのようにすれば良いのか。我々の考えていることはこのメンバーの片手間で出来る仕事ではないので、有償ボランティアの方を頼むなどの必要を感じているところである。</p> <p>→ランニングコストについて市がどこまでサポートするかということについては、提言実現に向けた進め方として、出来ることから順次予算化していく方針であることを、この提言実現検討会議で当初から説明していたかと思う。市としては、いずれ自立してもらいたいので、当初の1、2年程度については市で予算化して支援していくことになるだろうか。また、確認しておく。</p> <p>○実施から2、3年を目処に自立となると、資金面からもしっかりした内容にしないと実施は難しい。市の意向も聞きながら、検討を進めたい。</p> <p>○宿題の内容を見ると、「つなぎ、接着剤」というイメージを皆さんのが持っているように感じた。今ある団体やモノ等を活用して「一元化した情報にアクセスしやすい位置付け」というのが、皆さんの考えとして一致していると思うが、それで良いか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●（全員）異議なし。 <p>○組織はピラミッド型でなくても良いと思う。実行部隊、事務局を手伝う方が別々に居て、我々は活動の方向性を決める位置付け。団体が横でつながると尚良いかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例えば、ふるさと教育での講師派遣等で学校等からの依頼があった時の、情報提供や人材の派遣の対応が、多いニーズと予想される。 <p>○コーディネートまでしてくれるのが、コンソーシアム化の良さになるだろうか。情報収集して、それを提供し、人材派遣する。そして、その他にコーディネートも行う。コンソーシアムの目的は、①情報収集・提供、②得た情報のコーディネートあるいはコンシェルジュ（案内）、ということになるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●得た情報はデータベース化して、次の人につなぐイメージ。そうなると、補助的な人はますます必要だろう。 <p>○地域のコンシェルジュをたくさん育成すると面白いかも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各分野にはいらっしゃるけど、それぞれはつながっていないのではないかと思う。それぞれの分野の達人や匠の情報を共有すると言うか、人材的な宝の一元化をすることになるだろうか。 <p>○私も同じイメージを持っているが、いずれにしても、情報収集が大変だし、得た情報の更新も難しい。得た情報の最新化をどのようにするか、自主的に情報の更新・収集が出来るような仕組みが欲しい。そのためには、会員になってもらうためのメリットが重要。それぞれの業界を横断的に結び付けるというか。そもそも賛同が得られるような目的でないといけないだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのためには、我々の考えているコンソーシアムの魅力や価値を理解してもらう必要がある。情報の提供、収集、併せて資金確保も出来れば良いが。 <p>○この取組そのものに価値を見出してもらって、賛同してもらうイメージかと。続けるとすればどのくらいの期間か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●せめて10年だろう。心折れても、継続することが大切。組織はトップの交代があるが、 		

- 個人はそのようなことはない。
- だとすれば、まずは個人を対象にすれば良いか。
 - 例えば、会報送付により、その個人の最新の情報確認は出来るのでは。年配の方だと、メール利用等は難しいかと。
 - 会社・団体単位よりも、個人単位の方が賛同は得られやすいだろうか？
 - そうだと思う。
 - 1業種1個人であれば容易かもしれない。では、人をターゲットにして進めるか。そして、10年継続…。
- 発想を少し変えて、例えば、人をターゲットにした時に、加入者紹介というか、このようにしてその人の情報を個別に発信していくことがいいのか、それとも、単純にリストにして配布になるのか。
- 紙というよりも、情報がある程度溜まってきたら、インターネット上で発信すればどうだろう。そのままデータベースにもなるし、必要なら紙媒体にすれば良い。
 - 毎月1、2人増えていくようなイメージ？少しずつ情報を溜めていけばいいのか？
 - 私が宿題で書いた、紹介方式にすれば、比較的情報も集めやすいのでは。
 - 人が人を呼ぶようなイメージか。
 - インターネット上なら、紹介動画を掲載するのも良いかも。
 - ウェブ版で人の紹介をするイメージか。そうなれば、実行部隊となってもらえる人を募集する必要はあるだろう。併せて、事務局の役割も変わってくるかもしれない。誰を紹介するかを検討する企画会議を開催し、その方の了解を得て、取材等の実施、記事を書く、インターネット上に掲載、という流れの繰返しで取組むことが出来るだろうか。インターネットに掲載した情報をデータベース化やリスト化していく。誰を取材するかは、人が人を呼ぶということで、紹介方式で行うことにすれば可能だろうか。この方向で話を進めるのでどうか？
 - （全員）異議なし。
 - 宿題の中にあった「教員の協力」とはどういうことか？
 - 学校からのニーズはあるだろうから、協力してもらえるとありがたいという意味。
 - データベースの活用先は様々な団体などになるだろうか。例えば、PTA等のコアなターゲットに知ってもらったり、活用してもらったりするためにも、顔つなぎは重要。
 - 福野は学校が小中1校ずつと少ないから、地域の人とつながるような意味合いで、幼稚園や保育園にも対象範囲を広げても良いのかも。
 - データベースを活用してもらえそうな団体等としっかりとつながっておきたい。データベースを活用する、しないは先方の自由である。
 - そうなると、各地域づくり協議会とつながることも一案か。福野には協議会が7つあるから、地元にはいない分野の人材が隣の協議会には居る、といった具合で、活用してもらえるニーズはありそう。
 - 幼稚園や保育園には是非働きかけて、若いパパさんやママさんに福野の様々な事を子どもと一緒に体験しながら学んでもらう、というような教室をしてもらえたと良いと考える。
 - 体験出来る内容は、参加者に喜ばれるはず。
 - 福野の魅力を親が分かっていないと、子どもにも伝わらない。
 - 正に、親学び。
 - 例えば、福野以外から嫁がれた方で、勤務先が福野以外であれば、尚更福野の魅力は子どもからしか伝わらないだろう。
 - 人材が網羅出来たら、コンテンツの提供ということで、各団体等に営業に出向けば良いだろう。主な営業先は、小学校、中学校、幼稚園、保育園、地域づくり協議会、PTA、児童クラブ・児童会などになるだろうか。
 - 資金面の話になるが、仮に、機関紙に頼らない場合の必要経費は何になるだろうか。
 - ホームページの掲載費用と学びの場を開催した場合の謝金などになるだろうか。
 - 謝金の場合は、依頼元から謝金相当額などいくらかもらって、その額をそのままお渡しする、というルールにすれば良いのでは。
 - 例えば、寄付などをいただいて、依頼元からの謝金にいくらか追加した金額をお渡し出来れば尚良しかと。
 - 資金は、自分たちで稼ぐのに併せて、寄付あるいはスポンサー、というのが適当なのではないだろうか。自分たちで稼ぐというのは、まちづくり、人づくりのために使うということを謳って、全く別分野で稼ぐこと。会のPRや会を応援してもらうための仕組みとして、イベントに出店するイメージ。
 - 例えば、この会の企画として、親学びのイベントは無料とするが、自由参加のイベント

は有料にするとか。

宿題だった、①（コンソーシアムの創設に向けて）コンソーシアムの目的・背景の明文化、②コンソーシアムの目的を理解し、サポートしてくれる【支援者】を増やす「仕組み」、③機関紙の発行（資金面・企画面・実行部隊それぞれ）の仕組み、それぞれの大筋が定まってきたんだろうか。

●次は、コンソーシアムの理念の検討になるだろうか。人づくりにつながる学びの場をたくさん提供したい。

○基本的には、ホームページでの人材紹介。このホームページでは、福野を知るような内容等、自分たちの理念に合致するような他団体の学びの場の紹介も、リンクを貼る程度に行えたらと思う。

●キーワードは「学び」。福野の達人や匠の方々と連携して学びの場を提供していく、というイメージを持っている。

○例えば、「（仮称）福野（ふくの）学」と銘打って、学びの場のプラットフォームがホームページの中にあるようなイメージ。始めて1～2年は無作為に情報収集し、様子を見ながらその分野を調整していく。5年である程度の情報は集まるだろうから、情報更新を行う。このような流れのイメージだろうか。それを10年継続すると、自分たちのイメージするコンソーシアムにつながっていくイメージ。後は、実行部隊の確保をどうするか。スカウトでもする？

そして、理念をどうするか？文章化するか？キーワード的なものにするか？

●概要図で表現するイメージはどうか。

○福野から人が出て行くのは嫌だが、仮に福野から出て行っても、また福野に戻ってくるというようなことを表現したい。

●地域に対する愛情の醸成なのだから、「学びの場」の色合いをもっと強く出す必要があるだろう。この学びの場を通して、地域の担い手を作り、生きているまちを、元気のあるまちを目指す。そのためには、コンソーシアムという形態を使って、学びの場を提供したり、人づくりをしたりして、福野の魅力を伝えることではないかと。

○素晴らしい！今の発言を基にして理念を考えるのはどうだろうか？

●前回会議のグラレコの木のイメージが分かりやすいのでは。

○このグループは、まちづくりの「根っこ」に当たる部分を取組もうとしている。あの絵の「根っこ」の部分を、敢えて親子で体験出来るようにしていく、というイメージか。それでは、宿題として、先程の発言を基に、前回会議の木の絵をイメージしながら、理念を明文化してくるということでどうか？

●（全員）異議なし

○次回会議は、理念の検討と合同会議に向けてのまとめをすることとしたい。

◆次回会議

日時…令和元年11月20日（水）午後7時30分から

場所…福野庁舎2階 201会議室

内容…具体的な取組内容の検討

宿題…①（コンソーシアムの創設に向けて）コンソーシアムの理念の明文化：キーワードだけでも可

回 答 票

資料 2 -①

福野地域提言実現検討組織 人づくりグループ会議

氏名 浦井啓子

【2】次回会議では、今後の具体的な取組内容を検討する予定です。
(コンソーシアムの創設に向けて)

◎目的

“地域ピト”を育む【人づくり・人材育成】

私たちの暮らす南砺市(福野地域)に愛着と誇りをもち、豊かなコミュニティの創造し、
地域の未来を考え行動できる人を増やす

◎コンソーシアムの理念

【楽しく学ぶ、体験型地域学習】

- ・「まちの魅力」を再定義し、福野学として体系化、深化をはかる
- ・多彩な「人」資源の発掘
- ・人的ネットワーク構築

◎コンセプト

誰に	子ども、保護者、地域の人
何を	「まちの達人」人材をデータベース化し、体験型の学びを提案
どのように	①福野学「まちの達人」HPを新設し、達人人材をweb上で紹介・情報発信。 ②人的ネットワークの構築 ③体験型の学びを提案 (達人・人材リストを作成し、学校や自治振興会などに配布) ④学びの場のコーディネート

回 答 票

福野地域提言実現検討組織 人づくりグループ会議

氏名 苗加 隆史

【2】次回会議では、今後の具体的な取組内容を検討する予定です。

(コンソーシアムの創設に向けて)

コンソーシアムの理念の明文化：キーワードだけでも可

・子どもたちの「心の根っこ（Roots）」にたっぷりの愛を注ぎ、すくすくと育って大きな実をつけるための応援をしたい！

・福野の「匠（たくみ）」「名人」「マイスター」「生き字引」「プロフェッショナル」「博士」「達人」といった方々（以下「達人たち」）を紹介（データベース/コンシェルジュ/コーディネート）するとともに、学びの場の提供や達人たち同士を結ぶネットワーク（コンソーシアム）づくり。

・サケが生まれた川に戻ってくるように、進学・就職でいったんは外に出ても、いつか大きく成長して愛着のあるこのまちに戻りたい！住むことはできなくても、応援したい！という気持ちにさせる魅力あるふるさとづくり。

<つけたし>

・サケはどうして生まれた川にもどるのか？

→まだ、はっきりとした理由は解明されていないが、最近の説では、サケはおとなになってもうまれた川のにおいをよくおぼえているからと言われている。

回 答 票

資料 2 - ③

福野地域提言実現検討組織

人づくりグループ会議

ご氏名 林 紀孝

【2】次回会議では、今後の具体的な取組内容を検討する予定です。

(コンソーシアムの創設に向けて)

コンソーシアムの理念の明文化：キーワードだけでも可

名前

福のコンソーシアム

※「の」を強調 「福」に繋がるコンソーシアムという意味も込めて

理念

私たちは 地域の宝をつなぎ、共に学び合いの輪を広げることで能動的な生きている地域を創造します

基本方針

<学び>「学び」の場を福野地域の住民に提供します

<人材育成>地域の宝である人材資源を掘り起こし、耕し、種をまいていきます

<地域発信>「福の学」を広く地域に発信し郷土愛を育みます

コンソーシアムの柱として、「学び」と「人材育成」と「地域発展(発信)」の3つをもりこみました。

人にスポットを充ててのまちづくりにむけて、人のデータベース化、学びの場の提供、地域への発信が当面の事業です。

最終的には地域のために働いてくれる人を一人でも多く増やし、能動的な地域になれば活力が出るんじゃないかなあと思います

【連絡事項】

福野時報(仮称)の素案と福野人のリレー動画を作り、形に見えるサンプルを早め作成してみては??